

平成29年度 第2回 宇都宮市総合教育会議 議事録【概要版】

- 1 日時 平成30年3月27日（金） 午後4時～午後5時
- 2 場所 宇都宮市役所14階 14A会議室
- 3 出席者
(構成員) 佐藤市長，
水越教育長，大場教育委員，伊藤教育委員，山田教育委員，清島教育委員
(関係者) 手塚副市長，吉田副市長，
(事務局) 水沼教育次長，小堀学校教育担当次長，梓澤教育企画課長，
富山総務担当主幹，猪瀬学校管理課長，栗原学校教育課長，
増山学校教育課主幹，荒木学校健康課長，増渕生涯学習課長，
松本文化課長，今平文化課担当主幹，阿部スポーツ振興課長，
荒井国体準備室長，田中教育センター所長，伊藤中央図書館長，
大出教育企画課長補佐，本田企画G係長，関企画G総括，渡邊主任
- 4 傍聴者 1名
- 5 議題
(1) 平成30年度教育委員会基本方針（案）について

6 議事の内容

1 開会

水沼教育次長 定刻になりましたので、ただいまから、平成29年度第2回宇都宮市総合教育会議を開会いたします。

本日の会議の進行を務めさせていただきます，教育次長の水沼でございます。よろしくお願いいたします。

2 あいさつ

水沼教育次長 はじめに、佐藤市長からごあいさつをお願いいたします。

佐藤市長

佐藤市長あいさつ

水沼教育次長

ありがとうございました。
続きまして、水越教育長からごあいさつをお願いいたします。

水越教育長

水越教育長あいさつ

水沼教育次長

ありがとうございました。
ここからの議事の進行については、市長にお願いしたいと思います。
佐藤市長，よろしくお願いいたします。

3 議事

佐藤市長

それでは早速，議事に入ります。
事務局から説明をお願いいたします。

議事（１）「平成３０年度教育委員会基本方針（案）について

（事務局から平成３０年度教育委員会基本方針（案）について説明）

佐藤市長

ありがとうございました。

ただいま説明がありました，来年度の教育委員会基本方針についてですが，教育現場の声を聞きながら，今後２０年先，３０年先を見据えた取組を進めようとする教育委員会の思いが伝わってきました。

教育委員の皆さまからも教育委員会基本方針にかかる考えや，特に力を入れて取り組みたいものなど，それぞれご意見を伺いまして，その後，私からの意見をお話しさせていただきたいと思います。

まずは，大場委員からお話しをお願いいたします。

大場委員

それでは，私からは基本方針（７）「文化行政の充実」についてのお話しをさせていただきたいと思います。

このたび文化課で「宇都宮市歴史文化基本構想」が策定されましたが，大変優れた内容で，本市の歴史文化の厚み，懐の深さを知った思いでした。市民の方にもなぜ本市が住みやすいのか，交通の要衝なのか，なぜ古代から現代まで重要な地域なのかを理解し，誇りを持っていただきたいと思っています。

そのためには，先ず市の職員の方々が本市の歴史を十分に理解することが重要であると考えます。

本市のアイデンティティ，つまり宇都宮が宇都宮たる独自性を持つことが職員の人づくりともいえるのではないかと思います。そこで，職員を対象とした研修に取り組みればと考えております。そして，さらに職員の方が宇都宮に誇りを持って各々の立場で仕事をしていただけるよう市長にもお力添えをお願いしたいと思います。

市民に本市の歴史を分かりやすく伝える手段の一つとして広報うつのみやに小さなコラムがありますが，これを今後毎号１ページは確保するといった取組が必要だと思っています。そして，年代，立場を問わず本市の歴史への理解が進み，保存活用への寄付やボランティアといった機運が盛り上がることを期待したいと思っています。

伊藤委員

基本方針（２）「心の教育の充実」についてお話ししたいと思います。

４月から小学校で道徳が教科化されます。教育委員会では今までも「宮っ子心の教育表彰」等において認め励ます取組や授業においても道徳が教えられてきましたが，同じ教科書で相当の時間を割いて教えられるということは大きな進展だと思っています。これにより，子どもが一定の模範となる

考え方に接することになりますし、その考え方を友達や先生と話し合っ
て身に付ける時間が持てることになります。そして、子どもたちは大人に対
しても評価を下すようになるでしょう。この大人の中には家庭における父
母、祖父母、教師、社会の大人、たとえば市長や議員の方々も含まれるか
もしれません。子どもたちの目によって大人が襟を正す、そういうことに
もなると思います。

道徳の教科書は個人の団体における役割や義務などという項目はもちろ
ん、いじめ、スマホ問題のように他者の人権にかかわる問題も取り上げて
おり、今まで教育委員会が重要課題としてきた、それらの問題について教
師も子どもも考える機会が十分に与えられるものと期待しております。

このような道徳の教科化は大人のモラルの向上を重要な目標とし、市民
の人間力を高めようとしている市政にとっても大きなチャンスだと思いま
す。宇都宮市の教育未来都市構想は徳の最大化を志向するものだと考える
からです。

そのための第一歩として道徳の教科書を広範囲に活用するべきだと思っ
ています。家庭で、地域で、職場でそして個人の愛読書として読まれるの
が理想です。できれば、宇都宮市のベストセラーになればと思っています。
そこで、市長にも是非読んでいただき、今後お話しをする機会にもご活用
いただければと思う次第です。

また、議員の方々、市の職員の方々にもぜひ一読していただきたいと考
えております。

清島委員

基本方針（２）「心の教育の充実」の「体験活動について」お話ししたい
と思います。

小中学校では、冒険活動センターを利用した野外体験活動等を行って
いますが、さらにその活動を一步進めて通常の生活と比べて物のない中での
活動を行ったらよいのではないかと考えおります。被災した時などの非常
事態等に備える、物のない中でどうやって生きていくか、生活していくか
を体験すると大きな災害が起こったときでも、個人で対応でき、自分で切
り抜ける力、スキルとして身に付けられると考えております。こういった
ことから今後の冒険活動センターでの活動のカリキュラムの1つとして物
のない中での生活を体験できるという活動があればと思います。

山田委員

基本方針（５）「家庭と地域の教育力の向上」について意見を述べたいと
思います。

学校評価では、あいさつができる子どもたちの割合が高くなってきてお
りますが、地域学校園等の会議に出席すると地域の方から子どもたちのあ
いさつが足りない、言葉遣いが悪いので、学校に指導をお願いしたいとい
う意見が出ます。

教育委員会では、基本方針にもある「きめ細やかな家庭教育支援」や地
域の教育力を高める「地域総ぐるみの教育活動の充実」に取り組んでおり、

「第3次宇都宮市地域教育推進計画」では、基本目標に「地域・学校・家庭が相互に連携し、協力し、地域全体で学び合い育ち合う教育活動に取り組む」と位置付けたところであります。子どもたちのあいさつや言葉遣いについては、その場に遭遇した大人自らが、子どもたちに指導できるような関係を築いていけたらと思います。

そして、様々な教育活動に、学校、家庭、地域等が一体となり、社会総ぐるみで取り組むことで、地域や家庭の教育力がさらに向上すると考えます。

水越教育長

基本方針（3）「不登校対策の強化」についてお話ししたいと思います。不登校対策は昨年度の総合教育会議でも話ができましたが、今年度は特に最重要課題と捉えております。不登校児童生徒は依然として高い割合を示しており、その要因、背景も複雑化しております。学校に聞くと家庭の問題が非常に大きくなっていると聞いており、中々学校だけでは対応できなくなっております。そこで教育委員会内に不登校対策チームを設置し、担当指導主事を1名配置し、スクールソーシャルワーカーやいきいき専門員等でチームをつくり、学校に個別に指導し、不登校対策の強化をしてまいりたいと思っております。

次に、基本方針（5）「家庭と地域の教育力の向上」の中の子どもの家のあり方検討ですが、これまで本市の子どもの家は地域の皆さまによる運営委員会が主体として運営しておりましたが、近年、対象を6年生まで拡大したことや、障がいを持っている児童、マイナンバーカードへの対応など子どもの家の負担が非常に増えており、教育委員会としても個々に対応する方策は打ってきましたが、対応仕切れないような状況になってきております。子どもの家のあり方については今年度から庁内で検討しておりますが、次年度は抜本的な見直しを図っていきたくと考えております。

基本方針（8）「スポーツ行政の充実」ですが、次年度から国体推進課が新設され、いよいよ本格的な準備に入るところです。また、北西部地域では、体育施設を整備するという事で「北西部地域体育施設整備基本方針」が3月に策定されました。次年度は候補地の選定作業が大きな仕事になると考えております。東京オリンピックの開催、そして国体の開催などスポーツへの関心が高まるこの機会に1人1スポーツの実現に取り組んでまいりたいと思います。

佐藤市長

ありがとうございました。私の方からもコメントをさせていただきたいと思っております。

大場委員の話がありました「歴史文化基本構想」ですが、歴史をさかのぼればさかのぼるほど、自分の時代から離れるので子どもたちには分かりづらくなっているかと思っております。人物、時代でも分かりやすいものから興味を持ってもらえればよいのではと思っております。

大場委員からご指摘のありましたとおり、広報紙で毎号とりあげ、絵を

つけるなど分かりやすく歴史文化を市民に紹介していく、また職員の歴史文化への理解を深めるということも必要だと思います。そして、日本遺産の申請にも大谷が含まれておりますが、まずは大谷を契機として取り組んでいきたいと考えております。

次に、伊藤委員からご指摘のありました道徳ですが、道徳の教科書にいいじめ、スマホが取り上げられ、時代に合わせた内容になっていると思いました。自分の子どもを見ても、一緒に住んでいても考えていることが違うので、改めて道徳の大切さを感じているところです。我が国の源は人間力です。そこに特化するためには、道徳の教科化をチャンスと捉え、家庭では保護者が道徳の教科書を見る機会があると思うので、子どもと一緒に週に1回読んでもらうといった取組ができるのではと思いました。

清島委員は実際に、豊郷地区で体験活動に取り組んでおられるので、生き抜く力は野外活動で得られるというお話しには重みがあると感じました。また、野外活動は、教科書では得られない体験ができるかと思います。日常生活で苦しいことを我慢すると人間力の強化にも繋がると考えます。

山田委員から話のあった地域、学校、家庭の連携ですが、宇都宮市もそういった連携に力をいれておりますし、そこに地元の企業にも参加してもらうのがよいと思います。

先日、秋田の小学校を視察しましたが、改めて地域、学校、家庭の連携が重要だということを感じました。

教育長がおっしゃった不登校対策ですが、チームを作り、1名専門員を配置し、教育の環境を整えても学校に行ってくれないと勝負にならない。全市的にも考えなければならない1つの案件だと考えております。チームを作っていただくので、成果が出ることを祈りたいと思います。そして、結果について1年を通して教えていただきたいと思います。

最後になりますが、「子育て・教育の未来都市」の実現が最も大切だと思っています。本市一体となって対応していかないと実現できません。教育委員の皆様にはお力添えをいただき、一丸となって子どもたちの将来のため、明るい未来のために一丸となって力を併せて頑張っていきたいと思っております。

他に何かご意見はございますか。

伊藤委員

この間卒業式で西が岡小に行ってきました。校長先生から魅力ある学校づくり地域協議会と連携し、子ども達のテストの平均点を上げたというお話を聞きました。学習に地域の方が関わって、点数を上げるというのは応援した方もやりがいがあり、1つのよいモデルだと思います。

水越教育長

子どもたちが落ち着いて授業に取り組めるようになるのが一番学力の向上に繋がると思います。本市でも心の教育に力を入れて取り組んできた結果、中学校でも生徒がきちんと授業に取り組めており、学力にも成果となって表れたのだと思います。

伊藤委員

特別支援の方の運動会、学芸会、芋掘り等に参加させてもらいました。学校の経営も忙しいと思いますが、校長先生方も一生懸命参加されていました。学校の経営、統括等、校長先生も色々と大変なものも分かりましたが、さらにやっていただきたいと思います。それはトップの姿勢、気概を示すことが大切だからです。今後もさらに期待したいと思います。

佐藤市長

平成29年度から31年度で校長先生が多く退職される。その校長先生の後姿を見てもらって、校長先生になって頂くのが良いと思いますが、何か対策はしていますか。

水越教育長

中堅職員研修を行うなど、これからのリーダーを育てる取組をしております。

4 その他

佐藤市長

それでは、最後に「その他」になりますが、教育委員会の皆様から何かございましたらお願いいたします。

(特になし)

それでは、進行を事務局に戻します。

4 閉会

水沼教育次長

市長、ありがとうございました。
以上で、平成29年度第2回宇都宮市総合教育会議を閉会いたします。
ありがとうございました。